

地域市民の集い 武蔵台文化センター圏域

日 時：令和4年9月11日（日）10時～12時

会 場：武蔵台文化センター 3階 講堂

出席者：役員 9名／志水、山岡、筒井、谷本、棕田、林田、川辺、久保寺、山田  
5自治会 13名／川西、石井、小川、木下、安藤、阿知波、松村、前田、島倉、寺田  
石野、植木、林

書 記：山田登志郎

司会進行：谷本事務局長

議題：1、開会挨拶 志水自治連会長 市長懇の意見要望を取りまとめ中、自治会活動賠償保  
険の継続申し込みをお願いしたい

2、自治連役員及び出席者自己紹介

3、府中市自治会連合会／自治会についての説明

1) 府中市の自治会・町会・管理組合の概要

2) 府中市自治会連合会の組織と活動状況 各自治会に資料を配布済みで説明は省略

4、4部会の活動状況

1) 市民協働対策部 山岡部長

・市の協働対策推進部と連携 11／26, 27市民協働まつり開催 111団体  
ブース展示（緊急停電時の対策）、SDGsの展示・紹介

2) 生活安全対策部 林田部長

・10／5 東京ビッグサイトで危機産業展の研修視察を実施

・10／23 府中市総合防災訓練開催 7中がメイン会場、他は2小、白糸台小  
他に交通安全運動パレード（9／18）、自治連所有のランシーバーの貸し出し  
FMフチュウズの放送番組の紹介、自主防災連絡会の活動などの説明

3) 環境対策部 川辺部長

・9／1 スマートエネルギー展 幕張メッセで開催 41名参加

風力・水力・太陽光発電の内容が今回は企業向けが多く自治会では難しかった  
空き家対策など市側の動きを注視

4) 福祉対策部 久保寺部長

・市の高齢者支援課、社会福祉協議会等と連携業展と福祉産業展を同時に視察研修

5) デジタル部会創設（仮称）について 谷本事務局長

・スマホ、タブレットなどの端末機器を利用した対面会議ではない会議を開催予定

・小学生でもタブレットを使用しており、地域市民の集いもデジタル化になり得る

・各自治会でのデジタル化を見据えた勉強会を推奨

5、懇談会

・事務局から 自治連ニュースのラミネート加工済の在庫有り、自治会加入のパンフ  
レットの利用促進、地域の底力事業助成金で物品の配布を推奨（通常は1世帯当たり  
税込み500円まで）、防災対策普及啓発事業助成は高額な停電時に最適な停電ライ  
トの購入が可能、ライフラインで水問題について、汚物処理に対する BOS（臭わな  
いゴミ袋）の購入促進、

・生活安全対策部から 災害時の自宅避難の場合トイレの汚物の保管場所に風呂場  
を推奨。市内の小中学校全33校の体育館の空調設備をLPガスで発電。武蔵台圏域  
の住民は緊急治療について隣接の多摩医療センターが優先的に受け入れてくれる。

- ・晴見町に旧統一教会の関連団体が施設を建設中で隣接の東京農工大がチラシで注意喚起。
- ・会員数の減少に対する手段として、1つは地域の底力を利用して防災器具を購入し、毎年防災訓練を実施して機材の使用体験をしてもらう。もう1つは自治会活動のデジタル化を行いオンライン会議の実施で若い方にも加入の一助になっている。
- ・マイナポイントの活用を推奨
- ・11文化センター圏域で活動すべき自主防災連絡会の中で、ハケ下の地域が活動している。  
7小では防災連絡会を発足。7中は今後の予定。
- ・西原町では年間行事の実施が困難 安否確認訓練で当日の朝8時までに家の前にカードを表示。8時以降各班の班長がカード表示を確認して報告しカードは撤去。
- ・各自治会に防災委員が4名在籍しており何をすべきか認識を高めてもらっている。
- ・要援護者支援（高齢者、障がい者）への支援対応の訓練を予定。
- ・安全パトロール、公園清掃での参加者が増えている。
- ・新たなハザードマップで武蔵台文化センターと7中が避難所となりましたが近隣の要援護者の避難所でもあり、その受け入れと住み分けが不明。地域的には風水害の被害は見込んでいない。在宅避難を推奨。各家庭内の安全性の向上を期待。
- ・震災時の要配慮者への対応や、健常者でもケガや骨折で障がいの有る人になり得る
- ・自治連ニュースに各自治会の活動事例を掲載して他の自治会への情報提供している
- ・防災について地震や火災に対する対策を検討しているが予測は不可能であり、水害については対策をあまり考えていないようである。これは予測可能でありいろいろな事例を集めて検討すべき。
- ・ハケ上への水平避難と、ハケ下での垂直避難の違いを理解。

会 長		事務局長		総務部長	
-----	--	------	--	------	--